

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

走りながら考えた2018年、立ち止まらないう2019年へ。

◆2019年のはじまりに振り返る

昨年は議会制民主主義を形骸化させる安倍政権の悪政によって、人々の生存や社会の根幹を脅かす規制緩和を推し進める法律が次々と成立させられた年でした。裁量労働制の導入やカジノ解禁、外国人労働者の新たな在留資格、水道民営化、種子法廃止、漁業法改悪などなど挙げればきりがありません。主権在民とは程遠い政治です。

12月10日迄の国会が終わり、韓国、福島、岡山、沖縄と目まぐるしく視察する年の瀬となりました。

24日にはかつて精神障害者を座敷牢や家の裏庭の小屋に閉じ込めた私宅監置の跡が今も残り、唯一保存運動が行われている沖縄で、その歴史を刻む映画「夜明け前」の上映会にも参加。精神障害者の人権蹂躞の歴史を忘れないことはとても大切だと改めて実感しています。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区(藤沢市・寒川町) 当選7回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともここどもクリニック(湘南台)理事長 現在、厚労委員会・原子力問題調査特別委員会筆頭理事



https://twitter.com/abe_tomoko



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中!

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連
〒231-0012
横浜市中区相生町 4-69-4F
TEL 045-228-8591
FAX 045-228-8592

◆辺野古埋立ての代替は平和づくり

25日は米軍キャンプ・シユワブのゲート前へ。辺野古埋立てを強行する防衛省に抗議する沖縄の人々の座り込みに参加。私たちの前には民間警備会社アルソックの人達が立ち並び、排除する時には沖縄県警機動隊が動きまわります。土砂や器材を運び込むトラックは沖縄各地から業者が駆り出され、「辺野古が唯一の選択肢」と繰り返す安倍政権が、沖縄県民同士を分断しています。しかし、唯一の選択肢は平和作りです。

同日、国会では沖縄県の埋立て承認撤回を巡る野党合同ヒアリングで、大浦湾の軟弱地盤が判明。辺野古側に投入されている土砂は仕様書の指示とは違う赤土ではないかと指摘されながら県の調査を拒んでいる問題が明らかになりました。

◆ママたちの支援法案を今年も!

26日は名護市にある国立のハンセン病施設「沖縄愛楽園」を視察。また沖縄市にある沖縄助産師会の「母子未来センター」を訪問。妊娠、出産、子育てを入所や通所のマタニティ体操やベビーマッサージ(写真)等を通してサポートする施設です。同市の若年妊娠は全国平均の約3倍で、特別な支援メニューが用意されています。



臨時国会ではこのようなサポートを容易にする「産後ケアセンター設置法案」を提出しましたが継続審議に。今年も諦めることなく、邁進します。